



岡田

目指す子ども

ふるさとを愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども
~笑顔で いきいき 自分から~

令和2年2月28日

舞鶴市立岡田小学校
学校だより No.13

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

1日1日を大切に

2月に入ってから少し雪が降りました。子どもたちは待ちに待った雪の上に寝転がったり、雪玉を投げ合ったり、みんなで大きな雪のかたまりを作ったり、走り回ったりしてとっても楽しそうに遊んでいました。暖かい冬でしたが、少しは季節を感じることができてよかったです。



2月22日(土)は「感謝の会」と「6年生を送る会」を行いました。

「感謝の会」では、いつもいろいろな場面でお世話になっている地域の皆様に、各学年の代表の児童が感謝状とお花を渡し、感謝の気持ちを伝えました。お花は1年生が植えてくれました。これからも出会った時、お世話になった時には、挨拶やお礼をしっかりと自分の言葉で伝えてほしいと思います。

今年度の「6年生を送る会」は、実行委員会の提案により、「かつこいい6年生に感謝の気持ちを伝えよう」というテーマでおこないました。3学期が始まってから、6年生に感謝の気持ちを持ちながら、楽しんでもらえるように、喜んでもらえるように、感動してもらえるように発表の計画を立て、練習を積んできました。そして、どの学年も工夫を凝らし6年生への感謝と応援の気持ちのこもった発表をしました。一番前の席で見ている6年生は、みんなにこにこしてとても楽しそうでした。自分たちが主役の「送る会」であることを感じ、うれしかったことと思います。



最後に6年生が国語の教科書教材「カレーライス」をもとにした劇とともに、「いつも話を聞いてくれてありがとう」「いそがしいのに、送り迎えをしてくれてありがとう。」と、一人一人がお家の方にお礼の言葉を伝えました。

岡田小学校の子どもたちのつながりと素直さと温かさを感じた「6年生を送る会」でした。地域の皆様、保護者の皆様、お忙しい中お越しいただき、子どもたちに温かい大きな拍手をありがとうございました。

いよいよ来週から3月です。残り16日(6年生は15日)となりました。23日に卒業式、24日に修了式を迎えます。進学・進級の春に向けて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

保護者、地域の皆様には、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

校長 野田 千鶴 教職員一同

六年児童の感想より

二月二十二日に、6年生を送る会」がありました。入場するとき、とても緊張しました。私は、名前を呼ばれて前に立つときに、ちゃんと言えるかなと心配でした。1年生から5年生の劇を見て、たくさん笑ったし、今までは6年生を送る側だったので、これまでしてきた劇を思い出しました。そして、私たちのために長い台詞を覚えてくれたり、6年生一人一人の写真を首から下げて、よいところやおもしろいところをしっかりと見てくれたらんだと思えました。また、私が思っていた以上に他学年のみんなが6年生のことを頼りにしてくれていたんだなと思いました。

先生の発表では、忙しいのに、たくさん練習してくれたんだと思うくらいすごいなと思いました。福島先生の言葉では、あと十九日しかない聞いた時、もう少しで小学校生活が終わってしまうんだと思いきみしくなり、少し涙が出てきました。そして残りの時間を大切にしないといけないと思いました。

私たちの発表では、早口にならないように気を付けました。でも、やっぱり恥ずかしくて大きく動作をすることができませんでした。私は、家族や先生、他学年のみんな、地域の方々のおかげを伝えようとがんばりました。

一日を通して、たくさんの方がどうをもらうことができましたし、伝えることができましたと思います。

今まで、一生懸命練習してよかったなと思えました。

みんなと、楽しい思い出に残る6年生を送る会になりました。

